

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-3)

<b>件名</b>	スチームジェット真空破壊弁の点検作業時における汚染						
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 蒸気配管</p> <p>(2) 発生の状況 点検中</p> <p>(3) 概要 分離設備の抽出廃液供給槽の移送用スチームジェットの真空破壊弁(逆止弁)の点検作業中、配管内の蒸気凝縮に伴う減圧現象に起因する汚染が発生していたことによる床等の汚染</p> <p>* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p>						
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 分離建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働している槽及び分離建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、また、サーベイメータ等で汚染検出時には除染を行うので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> 作業区域内での汚染であり、サーベイメータ等で汚染を検知し定められた手順で除染を行うため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> 作業区域は汚染されるが、作業員への飛散はないため、作業員への影響は生じない。復旧作業にあたっては、定められた手順に従い汚染除去処置等を適切且つ速やかに行うことにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> 汚染の除去を行うのに時間を要する場合は、当該作業が影響を受けるが、他工程への影響は生じない。</p>						
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 汚染区域を設定し、一時的に人の立ち入りを制限する。</p> <p>(2) スチームジェット蒸気供給系配管内の汚染が原因で汚染が生じたことを確認する。</p> <p>(3) スチームジェット蒸気供給配管及び周辺の汚染状況を確認、把握した後、復旧作業計画(手順)など確認の上、汚染除去を実施する。</p>						
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)						
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">                 国際評価尺度 (INES) のレベル                  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>                  放射性物質の外部放出                  放射性物質による汚染、被ばく等                  多重防護の劣化                  運転制限範囲からの逸脱等             </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質の外部放出 放射性物質による汚染、被ばく等 多重防護の劣化 運転制限範囲からの逸脱等	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> 放射性物質の外部放出 放射性物質による汚染、被ばく等 多重防護の劣化 運転制限範囲からの逸脱等						
(b) 運転システムを切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							

本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したものであるため対応区分該当なし。

